

M-GTA研究会：定例研究会

第13回 修士論文発表会(オンライン)

概要：①M-GTA（修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ）を活用して修士論文を書き上げた学位取得者の**成果発表**——領域的知見と方法論的な苦労や工夫について発表してもらい、後学の参考とする。②現在M-GTAを活用して修士論文にとりかかっている修士課程生の**中間発表**——スーパーバイザーやフロアとのやり取りを通じ、研究の洗練を促す。

日時：2020年9月5日（土） 13：00～16：30

オンライン：ZOOMを使います。（**会員限定・事前申し込み、当日参加不可**）

参加スーパーバイザー：阿部正子（名桜大学）、小倉啓子（ヤマザキ学園大学）、伊藤祐紀子（長野県看護大学）、唐田順子（国立看護大学校）、菊地真実（帝京平成大学）、木下康仁（聖路加国際大学）、倉田貞美（浜松医科大学）、坂本智代枝（大正大学）、隅谷理子（大正大学）、竹下浩（筑波技術大学）、田村朋子（清泉女子大学）、都丸けい子（聖徳大学）、長山豊（金沢医科大学）、根本愛子（東京大学）、林葉子（[株]JH産業医科学研究所）、松戸宏予（佛光大学）、宮崎貴久子（京都大学）、山崎浩司（信州大学）

プログラム：

13：00～13：10 開会の挨拶・趣旨説明 林葉子

総合司会：世話人

13：10～14：30 中間発表 [SV：長山 豊]

「精神障害のある当事者家族の支援に関する研究

ーセルフスティグマが低減するプロセスに着目してー」

内野真由美 （大正大学大学院 社会福祉学専攻）

14：45～16：15 成果発表 [SV：林 葉子]

関係性「日本語を主専攻とする台湾の大学生が日本語教師に期待することー日本語教師との形成プロセスからー」

山田 美保 （名古屋外国語大学大学院）

16：15～16：25 総括コメント 進行：世話人

16：25～16：30 閉会の挨拶 坂本智代枝

申込：会員は研究会HPかMLから「**9月2日(水)21時**」までにお申し込みください。

定員になり次第〆切ります。なお、今回は会員限定です。

問合せ： 'M-GTA研究会事務局' m-gta@accelight.co.jp

担当：定例研究会委員会（竹下・坂本・阿部・都丸・宮崎・隅谷）